

インシュアテックイノベーション

連載第4弾

# ポスト資本主義・AI時代に 残る仕事①

アイリックコーポレーション(IRRC)フェロー

保険・ヘルスケアDX担当 畔柳 主税

近年、資本主義の限界が指摘される一方で、若い世代の価値観が変化している。従来の資本主義は競争や利益追求が中心だったが、若者は助け合いや社会貢献を重視する傾向がある。この変化の背景には、環境問題への意識の高まりや、SNSの普及によるグローバルな情報共有、ウエルビーイングの重視がある。さらに、若者は持続可能な経済を求め、脱成長経済や共同体ベースの経済など、新しい経済モデルを模索している。こうした変化は、資本主義の限界に対する自然な反応と言える。第4弾となるインシュアテックイノベーションでは、「ポスト資本主義・AI時代に残る仕事」と題し、新たな時代で保険業界の進むべき方向を探っていく。

## 大活躍する若い 世代の価値観を 探る

資本主義で競争・お金(損得感情)を超えるヒントを、日本人選手たちの活躍から考察する。注目するのは、メジャーリーグの大谷翔平、将棋の藤井聡太、そしてバリ



生命保険給付金支払いプラットフォームについてのセミナー

五輪で金メダルを獲得したアレイキンの湯浅亜実の3人だ。彼らに共通するのは、データを活用する能力、競技を楽しむ姿勢、謙虚さ、そしてチームへの貢献だ。まず、データやAIの活用。大谷翔平は自らのピッチングやバッティングのデータを徹底的に分

析し、パフォーマンス向上に役立っている。藤井聡太もAI将棋を使って対局の局面を研究し、独自の戦略を練り上げていく。これにより、正確かつ効率的なプレーが実現

されている。

次に、競技を楽しむ姿勢。3人とも、勝敗だけにとらわれず、競技そのものを楽しむ姿勢が見られる。湯浅亜実もパフォーマンスの創造性を最大限に楽しむことで、他者との差別化を図り、優れた結果を生み出す。この「楽しむ」精神が、スト

レスのかかる状況でも高いパフォーマンスを発揮する要因となっている。さらに、謙虚さと自己向上心も特徴的。大谷翔平や藤井聡太、湯浅亜実はすでに世界トップクラスで活躍しているが、自分の能力に満足せず、常に改善を目指し続ける。

彼らは成功しても過信せず、さらなる成長を追い求め、その謙虚さが結果に結び付く。最後に、チームや仲間との協力を重視する姿勢。彼らは個人の成功だけでなく、仲間との協力やチーム全体の成果を大切にしている。藤井聡太はライバルとの対局を通じて自己を磨き、大谷翔平はチームに対しても貢献することを意識する。このような協力や高め合いの精神が、個人の成功だけでなく、チーム・業界全体の発展にもつながる。

## 成功のカギは三つの「共」

大活躍する日本人選手の特徴から学ぶべきことは、共有(シェア)・共創(コラボ)・共同体(コミュニティ)で、日本企業が成功するための鍵となる。まず、共有(シェア)はデータや知識のオープンな共有を指し、選手たちがAIやデータを活用してパフォーマンスを向上させるように、企業もデータの共有を通じて効率性と競争力を高められる。たとえば、企業内外で情報や知識を積極的に共有することで、新しいアイデアや改善点が見つかる。

## 大谷翔平、藤井聡太、湯浅亜実の活躍から学ぶ

最後に、共同体(コミュニティ)の形成が重要である。選手たちが仲間やチームとの協力を大切にするように、企業も社内外のコミュニティを強化することで、強固な信頼関係を築き、持続可能な成長を目指すことができる。コミュニティの形成は、組織全体のモチベーションを高め、長期的なビジョンの実現につな

## AI-OCRの 共有から保険会 社との共同体創 造へ

これら三つの要素を取り入れることで、日本企業も変化の激しいビジネス環境で大きな成果を上げることが可能となる。実際に、弊社では保険業界においてこれらの取り組みを行い、給付金支払いのエコプラットフォームを実現した。診療明細の紙データとAI-OCRの基盤を共有(シェア)することで、AI-OCR・医療データ・ルールエンジンを提供する会社が共創でより高度なソリューションを開発。また、保険会社がお互いの業務の知見を生かし

が。また、保険会社がお互いの業務の知見を生かし

て、ウェブ査定・自動査定率の向上を実現するとともに、AI-OCRのIT基盤を低コストで共同利用できる共同体(コミュニティ)を形成した。さらに、2024年7月には、これらの知見を他の保険会社にも共有するセミナー・個別情報交換会を開催した。次号以降では、共有、共創、共同体の先行事例を紹介しつつ、さらなる発展をレポートする。

【畔柳主税(あぜやなぎ ちから) 氏のプロフィール】  
静岡県富士市生まれ・東工大卒。石油会社のIT部門から2008年より保険業界向けのITソリューション・DXの企画・営業に携わる。持ち味は企業コラボ。